

IV. 令和3年度調査計画書

1.1 令和3年度環境モニタリング調査の目的・体制・基本方針

1.1.1 目的

アイランドシティ線については、環境影響評価手続きにおいて当該事業が周辺環境に及ぼす影響を調査、予測評価し、必要な環境保全措置を実施することで環境に配慮した事業の実施に努める計画としている。

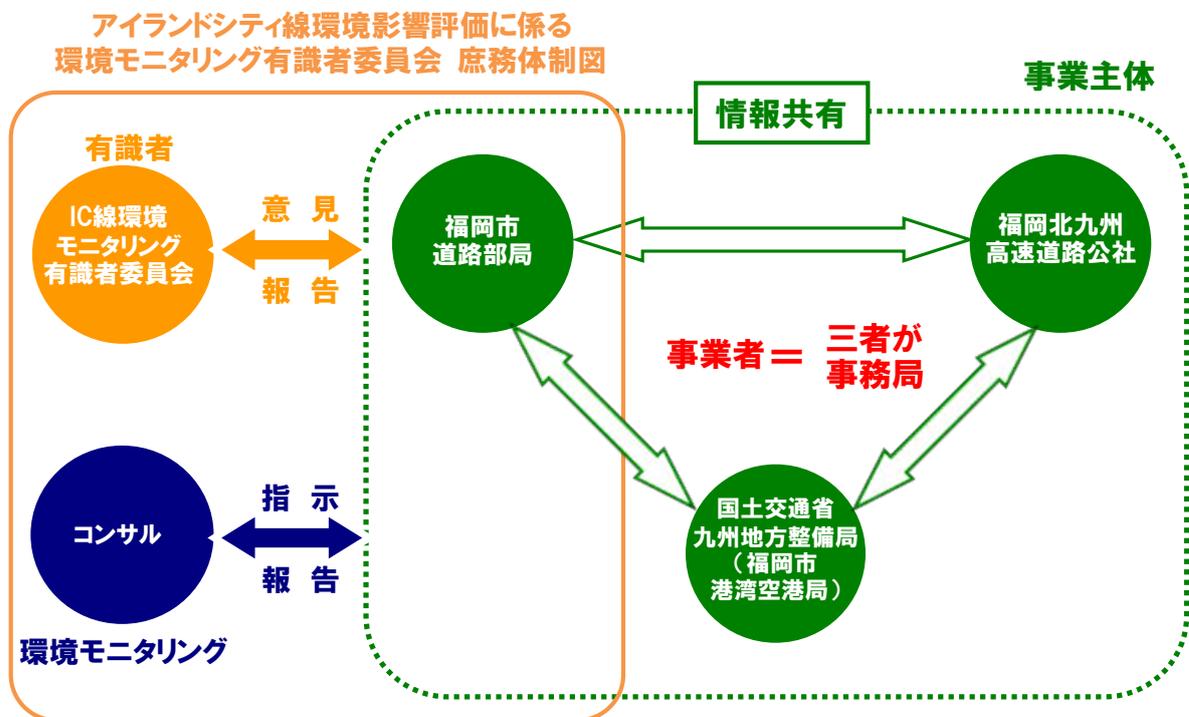
本環境モニタリング調査は、環境影響評価における環境保全の措置、その他の環境配慮事項の実施状況を調査、検証することにより、環境配慮を確実に実施することを目的としている。

1.1.2 体制

本環境モニタリング調査の実施、検証、報告にあたっては、国土交通省九州地方整備局、福岡市、福岡北九州高速道路公社の各関係部署、施工業者、コンサルタント業者及び環境モニタリング有識者委員会の関係機関が連携して行うものとする。

各関係機関の役割及び関連性は、以下の事業推進体制図に示すとおりである。

アイランドシティ線事業推進体制図



1.1.3 基本方針の設定

これまでの環境影響評価手続きを踏まえ、「I 全体調査計画書」I-13 ページ、「2.3 基本方針の設定」に示す、基本方針のもと環境モニタリング調査を実施する。

1.2 令和3年度工事計画

1.2.1 工事の進捗

令和3年度は、全区間で工事が完了し、供用開始となる予定である。

1.3 令和3年度環境モニタリング調査計画の内容

1.3.1 道路の存在又は自動車の走行

1) 自動車の走行に係る二酸化窒素及び浮遊粒子状物質

令和3年度には供用開始となる予定であるが、自動車の走行に係る二酸化窒素、窒素酸化物、浮遊粒子状物質に関する大気質調査は、自動車走行が概ね定常的となる時期に調査を実施する予定である。それに先立って、バックグラウンド調査として、工事前から供用前までの事業実施区域周辺における二酸化窒素、窒素酸化物、浮遊粒子状物質の経年的な変化傾向を把握することを目的に、既存資料調査を実施する。

a) 調査事項

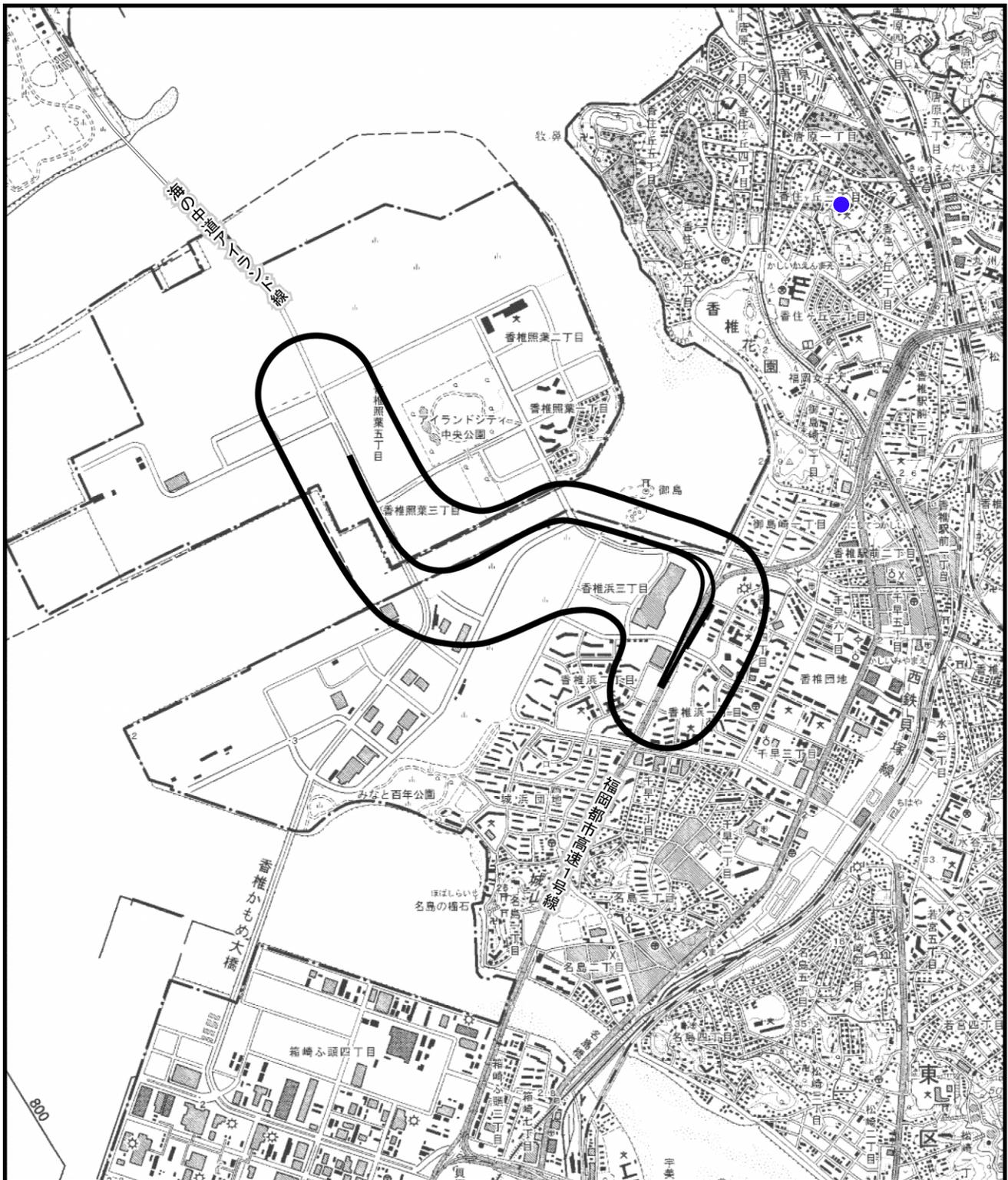
大気質の予測条件である「バックグラウンド濃度」とする。

b) 調査方法

各調査事項の調査方法は、表 1-3-1 に示すとおりである。

表 1-3-1 自動車の走行に係る二酸化窒素及び浮遊粒子状物質の調査方法
(バックグラウンド調査)

調査事項	調査方法	
バックグラウンド濃度	対象測定局	・香椎局（一般環境大気測定局）（図 1-3-1）
	対象項目	・二酸化窒素、窒素酸化物、浮遊粒子状物質
	対象期間	・平成 18 年度～令和 2 年度



凡 例

-  : 都市計画対象道路事業実施区域
-  : 都市計画対象道路
-  : バックグラウンド調査地点

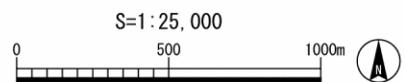


図 1-3-1 自動車の走行に係る二酸化窒素及び浮遊粒子状物質の調査地点位置図
(バックグラウンド調査)